

私たちは生活環境革命で人々を幸せにします



12021年12月に完成の新しい社屋



今年60周年を迎える中特グループ。手広く様々な事業を展開しながら長く続く秘訣を橋本CEOにお話を伺ってきました。取材・編集：大下

—橋本ふくみCEO

【基幹事業は変わりません！】

徳山清掃圏と徳山清掃センターをご両親がされていたのが始まりで、約20年前に2代目社長を引き継がれました。今でも廃棄物処理や下水道維持管理、浄化槽保守点検は基幹事業です。



【全てがSDGsへ・・・！】

「中特はいろんなことをしている」とよく言われるとか。中特グループには中国特殊、藤井興業、吉本興業、ポータルハートサービス、リライフなどがあり、全てSDGsに繋がっています！



また、イベントの後の地域清掃や、海岸のゴミ拾いなどに取り組み、今では社員の皆さんが自主的に何かのボランティアに参加しているとのことです。

【常に新しいことを！】

地方でも先進的な教育を受けるチャンスを増やすように始めた「ROBBO」は英語でプログラミングの授業をしています。現在40人ほどの子供たちが週1回楽しみながら学んでいます。

コワーキングスペース「Aratana」は人が集まることで何かを起こしていきたいと始めました。また、ACTA+（アクトプラス）は廃棄物を利用したアート事業。アートで色々な繋がりができたり発見があるそうです！

【受賞しました！】

昨年6月に橋本ふくみCEOが山口県の推薦で、内閣府男女共同参画課「女性のチャレンジ賞特別部門賞」を受賞。これはダチョウによる食品リサイクルや汚泥リサイクルといった独自性の高い事業や地域密着型の環境・社会活動を通じた人材育成への注力、廃棄物アートコンテスト、英語でプログラミングを学ぶスクールROBBOの運営など幅広い取り組みが評価されたものです。

【イベント企画中！】

橋本CEOは「地域の皆様に必要なとしていただいてこれまで存続してこられたことに感謝しております。著しい少子高齢化・人口減少の中で物も廃棄物も減っていくと思いますので、これからも固定観念にとらわれず、社員と共に新しいことに挑戦していきたいと思います！」と話されていました。

地域の方への感謝を込めて今年の5月25日には60周年の記念イベントを開催予定です。どんな企画になるかはもうご期待！



シンボルマークは「再び」「繰り返す」の意味を持つ「Re」をモチーフとしたハートを、線を大膽にし、水と共に生きる思いを込めたグリーンとブルーで表現。

【ノーメンダ特大事！】

中特さんの役員会議はSS（スーパーサミット）会議、部長会議はワクワク会議、目標達成会議はチャレンジ会議というそうです！前向きな姿勢が伝わってきます。

新しい社屋にも名前があります！中特オープンイノベーションの頭文字を取って「OOBJ」。



■DATA

【住所】 周南市大字久米 3034-1
【電話】 0834-25-0606
【FAX】 0834-25-0607